1

PRICKLY PROBLEM

気候変動やAIブームで浮上するエネルギー危機
米国で原子力発電所再稼働の風向き強まる

環境保護の観点から近年、原子力エネルギーに人々の関心が集まっている。
1979年、米東部ペンシルベニア州にあるスリーマイル島原子力発電所で、米国史上最悪の原発事故が起きた。
当時の放射性廃棄物の処理や新たな被ばくのリスクなどの火種がくすぶる中で、
今、原子力発電に舵を切ろうとしている米国の現状をCNNがリポートする。

ビル・ウィアー記者の発音と話し方の特徴

アメリカ英語

速さ：★★☆　発音：★★☆
語彙：★★☆　総合：★★☆

［★聞き取りやすい↔★★★ 難しい］

スタンダードなアメリカ英語で、話し方にメリハリがあるのが特徴。p.69のthirstyや、p.71のthe mostのtheなどに「伝える」工夫が見られる。renaissanceは米語では「レネソォンス」が主流だが、当記者のように「レネゾォンス」と発音する人も。

キーワード

ニュースを聴く前にチェックしておこう

52

□ nuclear	[njúːkliər]	原子力の、核の
□ green	[gríːn]	環境に優しい、環境保護の
□ meltdown	[méltdàun]	（原子炉の）炉心溶融、メルトダウン
□ spent nuclear fuel	[fjúəl]	使用済み核燃料
□ radioactive	[rèidiouǽktiv]	①放射能のある、放射性の　②激しい対立を生む
□ radiation	[rèidiéiʃən]	放射線、放射能
□ uranium	[juréiniəm]	ウラン
□ steep	[stíːp]	《話》法外な、あまりに高い
□ a hell of a…	[ə hél əv ə]	《話》とんでもない…、ものすごい…
□ interim	[íntərəm]	一時的な、暫定の

写真：Constellation Energy / Wikimedia Commons

原発事故から50年、再稼働の計画進む

ナチュラル 53 ゆっくり 57

❶With humanity thirsty for clean energy,/ nuclear is having a green renaissance,/ even among Democrats.// In Michigan,/ Governor Gretchen Whitmer is using a billion and a half in IRA funds/ to reopen the Palisades nuclear plant,/ saying it's the only way to meet state climate goals.//

And 50 years after America's most notorious nuclear accident,/ Microsoft is planning to reopen Three Mile Island/ to power AI computing.// ❷There is no conclusive proof/ that accident made anyone sick,/ but films like *The China Syndrome* and *Silkwood*/ helped make a Cold War culture even more wary of meltdowns—/ that never came.//

取材班の後ろには、放射性廃棄物の入った大型の容器が大量に並んでいる

人類がクリーンエネルギーを強く望むにつれて/ 原子力が環境保護の観点から再評価されています/ 民主党員の間でも。// ミシガン州では/ グレッチェン・ウィットマー知事が、インフレ抑制法の資金から15億ドルを用いて/ パリセーズ原子力発電所を再稼働させようとしています/ いわく、それが州の気候目標を達成する唯一の方法だと。//

そしてアメリカで最も有名な原発事故から50年後の今/ マイクロソフト社はスリーマイル島原子力発電所を再稼働させる計画を立てています/ 人工知能の情報処理に電力を供給するために。// 決定的な証拠はありません/ あの事故で健康を害した人がいるという(証拠は)/ ですが、『チャイナ・シンドローム』や『シルクウッド』などの映画が/ 冷戦時代の社会における、原発のメルトダウンへの警戒心がいっそう強まる一因となりました——/ (メルトダウンは)実際には一度も起きなかったけれど。//

理解のポイント

》❶は付帯状況のwithで、〈with＋名詞句〉で原因・理由を表すことができる。(being) thirsty for clean energyの実質的な主語はhumanity。

》❷はThere is no conclusive proof (that) that accident made anyone sickのように、同格のthatが省略されたと考えるとわかりやすい。

prickly	《タイトル》厄介な
(be) thirsty for	～を切望している
nuclear	原子力の、核の
green	環境に優しい、環境保護の
renaissance	復活、再流行
IRA	＝Inflation Reduction Act インフレ抑制法 ▶米で2022年成立。
notorious	悪名高い
(the) Three Mile Island (Nuclear Generating Station)	スリーマイル島原子力発電所 ▶1979年に炉心溶融事故が発生。
power	①～に電力・動力を供給する ②電力、動力
conclusive	決定的な、疑う余地のない
(be) wary of	～を警戒している
meltdown	(原子炉の)炉心溶融、メルトダウン